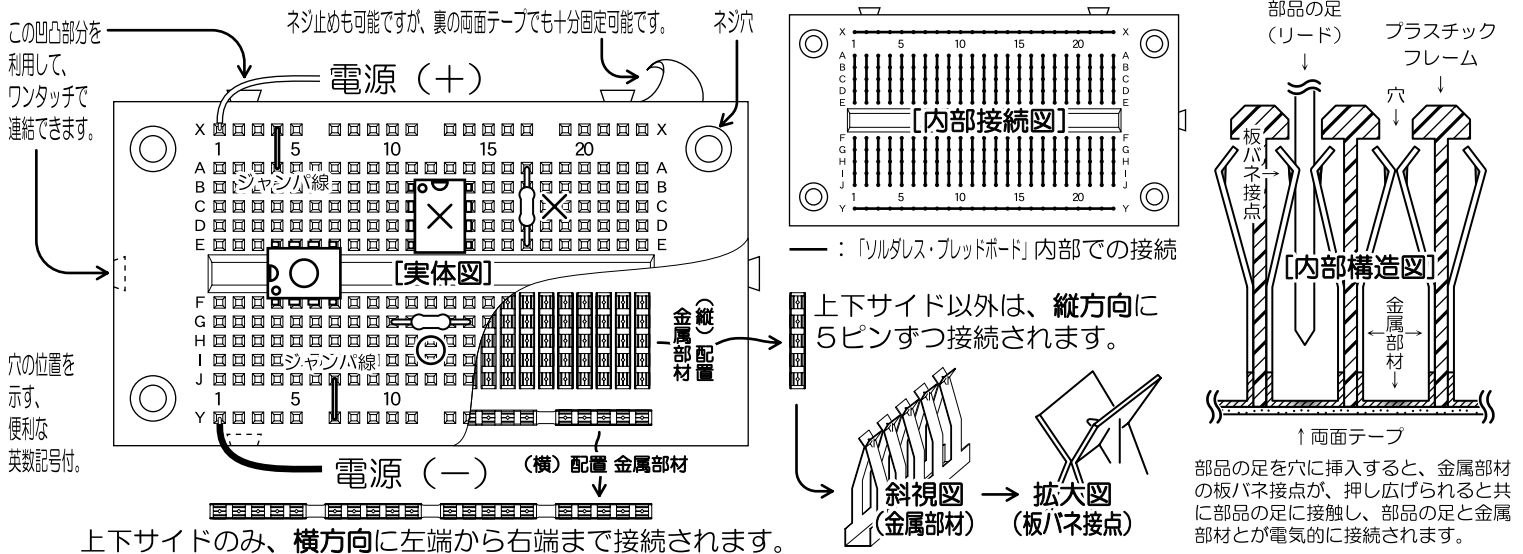


「ソルダレス・ブレッドボード」の達人

ソルダレス・ブレッドボード (Solderless Breadboard) は、ハンダ付け不要の回路基板です。部品 (の足) を挿すだけで結線でき、基本的に何度も使用可能で、変更が容易で試作に最適です。

【構造】

(例) EIC-301タイプ



※ソルダレス・ブレッドボードの内部には、板バネ接点を有する金属部材が配列されており、穴に挿し込んだ部品の足どうしが、縦方向、横方向に、それぞれ電氣的に接続されます。

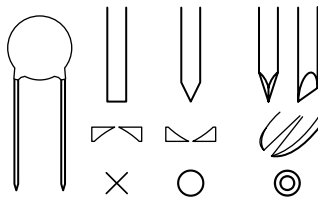
(即ち、×印の様な部品配置は、全く意味がありません。○印の様に挿します。)

一般に、ソルダレス・ブレッドボード中央にICを配置し、上下サイドを電源ライン等に用います。

※接続に使用するジャンパ線は、φ0.5 (0.3~0.8) mmが適します。専用のジャンパ線の他、錫メッキ線、被服単線、あるいは、0Ω抵抗、細ピンヘッダなども御利用になれます。

【部品の上手な挿し込み方】

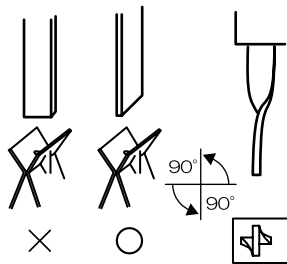
①棒状の足の場合



ニッパの斜めに使用向き切るとに注意。更に良。

(要するに、足の先を尖らせて、挿し込み易くします。)

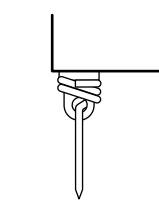
②板状の足の場合



方向により挿し込み易さが違います。

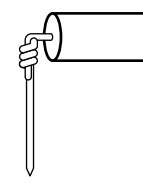
(足先を捻る際は、部品を壊さない様、ご注意ください。)

③入らない足の場合

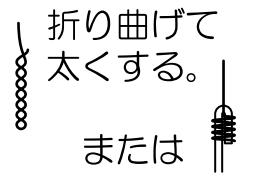


適切な太さの錫メッキ線などに連結します。連結部分は、出来るだけキッチリと多く巻き、接触面積を広くして、導通性を高めると共に構造的に頑丈にします。

④届かない足の場合

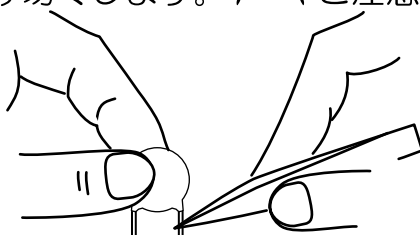


⑤細すぎて抜けてしまう足の場合



折り曲げて太くする。

または



※材質にも拠りますが、一般的に (当たり前ですが)

細い足は、挿し込み易いが曲がり易く、また反対に、

太い足は、挿し込み難いが曲がり難いと言えます。

片手で部品本体を持ち、もう片手でピンセット等を用いて、部品の足を支えると、上手に挿し込めます。

「ソルダレス・ブレッドボード」 & 「SBkit シリーズ」

(株) 秋月電子通商 【 <http://akizukidenshi.com/> 】

© 2014 AKIZUKI DENSHI TSUSHO CO.,LTD.